

No. 68

令和4年10月10日

シルバー ふくちやま



機械除草班(大江町桜つつみ)

6班編成56人の体制で、
暑い中も頑張って就業しています。

公益社団法人 福知山市シルバー人材センター

■福知山市昭和新町162番地 ■TEL.0773-23-7677 ■FAX.0773-23-7678
■Email : dokkoise@sjc.ne.jp ■URL : <https://webc.sjc.ne.jp/dokkoise/>

三和連絡所

■福知山市三和町千束530番地 ■TEL.0773-59-2170 ■FAX.0773-59-2171

会員数 628名

男 425名
女 203名

(令和4年10月1日現在)

令和4年度 第38回 定時総会開催



令和4年5月28日(土)午後1時
30分から第38回定時総会を開催
しました。

新型コロナウイルス感染拡大防
止のため、ご来賓の皆様へのご招
待を見合わせ、出席者も役員等の
少人数とし、規模を縮小して、京
都府立中丹勤労者福祉会館で開催
いたしました。会員の皆様には、事
前に議決権行使書の提出をしてい
ただき、議決の意思表示をいただき
ました。

中里嘉久理事長の挨拶に続いて、
センターの発展にご尽力をいた
だいた会員のみな様を表彰いたしま
した。

定時総会は、下六人部地区の山
口省三会員を議長に選出し議案審
議が行なわれました。その結果、上
程されました議案は全て賛成多数
で承認されました。

当日の出席者数、 議決権行使書の状況

- 当日の会員数 617人
- 出席者総数 63人
- 議決権行使書提出者数 317人

議案

- 第1号議案
令和3年度事業報告について
- 第2号議案
令和3年度収支決算報告について
- 第3号議案
理事長に対する権限委任について
- 第4号議案
役員を選任について

報告

- 報告第1号
令和3年度収支補正予算について
- 報告第2号
令和4年度事業計画について
- 報告第3号
令和4年度収支予算について
- 報告第4号
事務費規程の一部改正について
- 報告第5号
車両の運転の定年に関する要綱
の制定について

退任

役職	氏名
副理事長	渡邊 満子
専務理事	荒木 一昌
理事	門野 道子
理事	大槻 博志
理事	尾上 好江
理事	山地 信一
理事	松浦 征彦
理事	岨尾 充
監事	保田 逸二

役員紹介

役職	氏名	役職	氏名
理事長	中里 嘉久	理事	小網 敏子
副理事長	芦田 胤雄☆	理事	坂本 葵
専務理事	山中 明彦☆	理事	田中 美幸☆
理事	足立 和則	理事	東山 初代☆
理事	岡田 勝一☆	理事	安田 信彦
理事	加藤 洋行	監事	竹下 義崇
理事	岸本 正☆	監事	松本 和徳☆
理事	桑原 秀行☆	新任の理事を含む 役員の皆様をお知らせします。 ☆印は新任	
理事	楠元 學☆		

令和4年度

事業計画

- SDGs に呼応した取り組み
- 人権尊重を基本とした事業運営
- 健全な安定した事業経営と自主財源の確保
- 安全就業と健康管理の徹底
- 適正就業の実施
- 会員の増強
- 就業開拓と受注拡大
- 職群班の育成強化
- 独自事業の推進と自立確保
- 地域班の活動の推進
- ボランティア活動等社会参加活動の推進
- 普及啓発活動の推進
- 情報収集・提供・調査研究
- 個人情報保護の確保
- 組織体制の充実強化
- 事務局機能の充実強化
- 会員の福利厚生推進

会員互助会 第18回定期総会を開催



5月28日（土）定時総会に引き続き、会員互助会定期総会を開催

■議案

- 第1号議案 令和3年度事業報告について
- 第2号議案 令和3年度収支決算報告について
- 第3号議案 令和4年度事業計画について
- 第4号議案 令和4年度収支予算について
- 第5号議案 会員互助会会則の一部改正について
- 第6号議案 役員を選任について

上程された議案は、すべて原案のとおり承認されました。

退任

役職	氏名
前会長	畠中 保穂
前副会長	田中 美幸
前庶務会計	楠元 學
監査	保田 逸二
前幹事	大林 清子
前幹事	森下やすゑ
前幹事	岸本 正

役員紹介

役職	氏名	役職	氏名
会長	横田 義和☆	幹事	塩見 均☆
副会長	南野 幹夫☆	幹事	鈴木 行雄☆
庶務会計	細尾三洋治☆	幹事	谷口 幸美
監査	松本 和徳☆	幹事	細見 克彌
監査	竹下 義崇	幹事	牧 変
事務局長	山中 明彦☆	幹事	松本 五郎
幹事	荒木 礼子☆	幹事	山根 道子

☆印は新任

表彰状・感謝状の贈呈

表彰状

副 理 事 長	渡邊 満子 (役員 12年)
理 事	大槻 博志 (役員 8年)
理 事	門野 道子 (役員 8年)
理 事	尾上 好江 (役員 6年)

正会員 15年以上

会 員	大槻 博志
会 員	大槻 建夫
会 員	細見 孝子
会 員	田中 孝夫
会 員	藤田 文夫
会 員	谷野 正大
会 員	中村 道子
会 員	坂本 葵
会 員	尾崎 隆士
会 員	倉ヶ市一二三
会 員	小原 博光
会 員	芦田 芳司

会 員	西田 久世
会 員	松井 一夫
会 員	芦田 勇雄

感謝状

御退任

理 事	岨尾 充
理 事	山地 信一
理事・地区班長	松浦 征彦
監 事	保田 逸二
地 区 班 長	牧 変
地 区 班 長	横田 義和
地 区 班 長	山田 貞行
地 区 班 長	塩見 均
地 区 班 長	南野 幹夫
地 区 班 長	荻野 亮市
地 区 班 長	桐村麟之助
地 区 班 長	安達 文彦
地 区 班 長	渡辺 長義



令和4・5年度 地区班長等役員・互助会協力員名簿 令和4年4月1日現在

地区班	役職名	新役員名簿
惇明	班長	石川 勉
	副班長	赤井 淳
	副班長	松浦 征彦
	地区員	谷掛 妙子
	地区員	赤井 淳
	地区員	審良 鈴代
	地区員	中野 喜久栄
	互助会協力員	赤井 淳
昭和	班長	竹下 義崇
	副班長	牧 変
	副班長	楠元 學
	地区員	牧 変
	地区員	楠元 學
	地区員	桐村 達夫
	地区員	畠中 保穂
	地区員	芦田 久美子
	地区員	金山 光男
	地区員	細尾 三洋治
	地区員	谷垣 秋雄
	地区員	井元 智恵
	地区員	荒木 礼子
	地区員	青木 とし子
互助会協力員	桐村 達夫	
大正	班長	氷上 孝宣
	副班長	吉田 久仁夫
	地区員	大槻 ノリ子
	地区員	藤原 兼雄
	地区員	坪井 隆
	地区員	谷 淵 三 男
	地区員	高橋 昭子
	地区員	横田 義和
	互助会協力員	大槻 ノリ子
雀部	班長	後田 正行
	副班長	山田 博允
	地区員	松山 朱美
	地区員	山本 直義
	地区員	深川 秀基
	地区員	土田 則男
	地区員	芦田 昭子
	地区員	飯尾 忠雄
	地区員	佐藤 文男
	互助会協力員	稲継 久子

地区班	役職名	新役員名簿
遷喬	班長	青木 繁實
	副班長	足立 重行
	地区員	片山 砂雄
	地区員	嶋田 孝正
	地区員	森下 英二
	地区員	高橋 章
	地区員	神野 克行
	互助会協力員	高橋 章
	成仁	班長
副班長		足立 重治
互助会協力員		栗田 万三
班長		田内 稔
庵我	副班長	塩見 均
	地区員	安達 博明
	地区員	西田 典右
	地区員	植村 正雄
	地区員	山中 光男
	地区員	塩見 満博
	地区員	植村 すみ代
	地区員	浦岡 真由美
	互助会協力員	今次 忠雄
	佐賀	班長
副班長		田辺 節子
互助会協力員		松本 五郎
修齊	班長	藤田 隆雄
	副班長	門野 道子
	副班長	小林 和幸
	地区員	朝子 隆
	地区員	福井 繁
	地区員	田辺 一正
	地区員	森田 義巳
	地区員	足立 栄司
上豊富	地区員	足立 正和
	地区員	小林 和幸
	互助会協力員	田辺 良博
	班長	大橋 初男
下六人部	副班長	大槻 貞巳
	互助会協力員	大橋 初男
	班長	山口 省三
	副班長	片岡 美義
	地区員	坂本 葵
地区員	保田 逸二	

地区班	役職名	新役員名簿
下六人部	地区員	笹田 鈴子
	互助会協力員	南野 幹夫
中六人部	班長	堀 讓
	副班長	堀 義弘
	互助会協力員	堀 義弘
上六人部	班長	大槻 晋二
	副班長	大槻 祥二
	互助会協力員	福井 勉
下川口	班長	松井 輝明
	副班長	奥村 由紀代
	互助会協力員	奥村 由紀代
上川口	班長	西村 壽彦
	副班長	阪梨 範明
	地区員	藤田 健一
	地区員	小川 進
	地区員	桐村 麟之介
互助会協力員	阪梨 範明	
金谷	班長	今福 五男
	副班長	今福 庄治
	互助会協力員	横岡 奈津代
三岳	班長	谷 光幸
	副班長	山下 実千穂
	互助会協力員	田中文 雄
金山	班長	佐竹 勝子
	副班長	大林 清子
	互助会協力員	森下 やすゑ
雲原	班長	川戸 博
	互助会協力員	山村 隆
三和町北	班長	田中 孝夫
	副班長	谷野 正大
	互助会協力員	東山 初代
三和町南	班長	藤田 輝雄
	副班長	伊藤 潔
	互助会協力員	細見 克爾
夜久野町	班長	嶋尾 充
	副班長	西 和宏
	地区員	衣川 進
互助会協力員	居合 和子	
大江町	班長	新田 要
	副班長	山地 信一
	互助会協力員	中嶋 れい子

シルバー
行事

お知らせ 案内板

- 令和4年10月15日(土)
 - 8時30分 清掃ボランティア
 - 13時30分 親睦グラウンドゴルフ大会
- 令和4年11月23日(水・祝)
 - 7時45分 福知山マラソンボランティア
- 令和4年10月28日(金) 13時30分
 - 人生100年フェア シルバージョブイベント
- 令和5年2月
 - 親睦日帰り旅行

※新型コロナウイルスの感染状況により
計画を中止する場合があります。

令和4年度安全就業対策について

安全就業はシルバー事業の基本であり、発注者や地域社会からの信頼と存在感を得るために大変重要な要素です。「安全はすべてに優先する」「安全なくして就業なし」を合言葉に「事故0運動」を継続実施しています。

◆令和3年度の事故の発生状況

	R 3	R 2	増減	事故の主な内容
傷害事故	5	4	1	蜂さされ3、裂傷1、転落1
物損事故	7	18	▲11	車両5、飛び石1、刈払機排気熱1

令和3年度の傷害事故の発生原因は、蜂さされ3件、刈払機による裂傷、剪定作業中の転落各1件の5件となっており、骨折で長期休業となっている会員があります。

物損事故では、従来から事故が多かった機械除草中の飛び石事故は1件でしたが、就業現場において車両の発車直後などの低速走行時の接触事故5件、刈払機の排気熱によるパイプハウスのビニール破損1件の計7件と、前年度から半減しました。

しかしながら、傷害事故、物損事故ともちょっとした不注意が事故の原因になっています。「だいじょうぶ いやもう一度 再確認」を心がけ、あわてず、無理をせず、周囲を確認して事故のない安全就業を推進しましょう。

安全パトロール（遷喬地区）

●安全就業委員会

令和4年7月13日、令和4年度第1回安全就業委員会を開催しました。

委員長に山下 実千穂会員、副委員長に高橋 啓久会員を選出し、令和4年度安全就業委員会の取り組みについて検討し、安全就業委員会による安全パトロールの実施、就業前の安全確認や就業中の安全対策に重点を置いて安全就業に努め、「事故0運動」を継続実施することとしました。



ご安全に！

雨にも負けず、暑さにも負けず、それと草にも負けず。
毎日愉快的仲間たちと除草業務に従事しています。
駐車場、のり面、2～3mの草が生い茂り、足を踏み込むのも困難な現場、どこから着手していいのやら。

以前は、何日もかけて人力で作業していましたが、メンバーも高齢化が進み、体力的にも無理があり、4年前にハンマーナイフという動力機械を導入して、見栄え良く、短時間で処理できるようになりました。

作業後の朝、「おはようございます。」高校生が遊歩道を駆け抜ける。

「ご苦労さんです。」「きれいにしてもろて、ありがとう。」

ジョギング、散歩する人から言葉を掛けられる。この一言に除草業務のやりがいと誇りを感じます。また、声をかけられて、胸が熱くなるのは、私一人だけではないと思います。

毎日 おはようございます。
ご苦労様でした。
明日も安全第一で頼むで



みんなほんまによくやるわ！

笑顔のたえない、明るく楽しい職場作りに励んでいます。 班長 足立 和則

「令和4年度安全・適正就業推進大会」開催

京都府シルバー人材センター連合会は7月19日午後2時から京都府中京区の京都府立総合社会福祉会館（ハートピア京都）で「令和4年度安全・適正就業推進大会」を開催しました。

大会に向けて募集した安全・適正標語に、16名38件の応募がありました。このうち、「だいじょうぶ いやもう一度 再確認」（田中秀和会員）及び「『これぐらい』と思う油断は 事故を生む」（亀井吉晃会員）の2点を推薦しました。

その結果、田中秀和会員の標語が優秀賞を受賞されました。（11頁関連記事）大変おめでとうございます。

また、大会では山中明彦事務局長が「安全就業への取り組み」と題して、報告を行いました。



田中 秀和 会員 左から2人目

府内の各センターからの表彰者

<p style="text-align: center;">焦るな急ぐな手を抜くな 基本動作で 事故は「0」</p> <p style="text-align: center;">舞鶴市SC 浜田 一様</p>	<p style="text-align: center;">優秀賞</p>	<p style="text-align: center;">だいじょうぶ いやもう一度 再確認</p> <p style="text-align: center;">福知山市SC 田中 秀和様</p>	<p style="text-align: center;">優秀賞</p>	<p style="text-align: center;">安全は 一人ひとりが責任者 意識を高めて無災害</p> <p style="text-align: center;">長岡京市SC 岡田 安弘様</p>	<p style="text-align: center;">最優秀賞</p>
--	--	---	--	---	---

シルバー和太鼓“翔”

令和4年7月13日(水) 人権ふれあいセンターのお声かけにより、福知山市南佳屋野児童館において、ふれあいデイサービスの会員さん20名との交流の場で、シルバー和太鼓“翔”の演奏を披露しました。

昨今のコロナ禍の世の中で演奏の機会もまれとなっています。当日は4曲を発表し、演奏の合間にはふれあいデイサービスの会員の皆さんにも太鼓に触れ、叩いてもらったりしながら、なごやかな中でふれあい活動ができました。

会員 石間敏員



スマホ体験教室を開催

公益社団法人京都府シルバー人材センター連合会主催の高齢者活躍人材確保育成事業として、令和4年7月12日(火)に「スマホ体験教室」を京都市中丹勤労者福祉会館を会場に開催しました。

本講習会は、60歳以上の市民を対象としたもので、参加人数は7名 楽しく受講され、基本的な取り扱いを習得されました。

みんなでラジオ体操

令和4年8月30日(火) 早朝、NPO法人全国ラジオ体操連盟、日本放送協会(NHK)、かんぼ生命保険が主催、福知山市が共催の全国の会場を回るラジオ体操巡回イベントに参加しました。



シルバー人材センター
マスコットキャラクター
「チエブクロー」



新春の神社などに飾られる「しめ縄」製作お受けします

センターでは、毎年、新年を迎えるために神社の本殿や鳥居などに飾られる大規模なしめ縄をご注文いただき、製作しています。新たなご注文にも対応できますので、是非ご検討ください。

製作には時間を要しますので、お早めにご相談ください。



自分のスタイルに合わせた 活躍の場、見つけませんか？

60代からの 楽しみ方

就業していただくためには入会手続きが必要です

いずれも

入会説明会

11月 1日(火) 午後1:30~
11月17日(木)

新規入会キャンペーン 初年度年会費無料

公益社団法人 **福知山市シルバー人材センター**

〒620-0051 福知山市昭和新町162番地

☎0773-23-7677



民間事業所様等の「清掃」「機械除草」のスタッフ募集中

シルバー人材センターと人権

シルバー人材センターの就業は、地域の公共事業を始め、民間事業者様からの仕事、さらには個人あるいは家庭のニーズから発生する仕事等非常に多岐にわたっています。そして、会員は就業を通じて、発注者、発注者の顧客、地域住民、会員など、直接又は間接的に多くの人々と関わり合っています。そのため、就業においては人権を尊重するとともに、就業マナーや安全に配慮した行動が、必須となります。

とりわけ、人権は私たち一人ひとりが生まれながらに持つ、誰にとっても最も大切なもので、お互いの思いやりの心によって守られなければならないものです。しかしながら、部落差別、女性、高齢者、子ども、障害のある人、女性の人権、外国籍の人などの人権問題の解決が大きな社会的課題となっています。

シルバー人材センターでは、会員及び職員一人ひとりが人権意識を高めることが就業に欠かせないものであると認識し、社会的責任として人権尊重を基本とした事業運営を進めていきます。

の 声

福知山市シルバー人材センターとのご縁

夜久野地区班 夜久 早百合

福知山市シルバー人材センターさんとのご縁は、2016年夏まつりの FUSO フェスタでした。

私は、和太鼓三音（みね）で出演、シルバー和太鼓 翔のみなさんも演奏されていました。その日のご縁で、和太鼓練習の指導にお誘いを受け、アドバイスをさせて頂くようになり今日に至っています。

子どもたちの指導はしていますが、シルバーさんは初めてでした。今から思えば、子どもたちと同じように「背筋をのばして～」とかっこよく演奏できたらという思いが先行していました。

シルバーの皆さんの人生の歩みを感じる姿、味のある打ち方、楽しく練習ができ、熱心に打ち込む姿は、私も何かに挑戦しよう！何かを始めよう！と元気を与えます。

私達が演奏している曲「まつり」も覚えて頂き、演目に入るようになりました。

やがて、コロナ禍で練習もお休み。シルバー和太鼓 翔のみなさんとも遠縁になっていました。

徐々に練習ができた時、メンバーの方が亡くなられていた事を知らされました。あんなに楽しく「おろし」や「三連符」など進んでやっておられた方が・・・ショックでした。

「その時」は遅かれ早かれ誰にもやってきます。その日まで、日々新たな出会いに感謝して、ご縁を大切に歩みたいと想い暮らしています。

コロナコロナで過ごしている内に、若者気分でした私も65歳を超えていました。昨年、福知山市シルバー人材センターに入会し、今年の3月から地元上夜久野平野地域の「府民だより」を配布しています。いろいろな発見があり楽しんでいます。

リフォーム

昭和地区班 大林 八重子

コロナ禍で屋内での生活が多くなり、久しぶりに編み機と向き合い、小物作りやミシン掛けなどが出来ました。

赤い毛糸は、20代の時に嫁ぐ妹に持たせた私服用のもので、今では派手になりましたが、セーターへとリフォームしたものです。



安全・適正就業の標語 入選者表彰式に出席して

夜久野地区班 田 中 秀 和

先日7月19日に京都市で実施された令和4年度 安全・適正就業推進大会で標語入選者の表彰式があり、受賞いたしました。

最初 安全標語入選の一報を受けた時には、驚きと共に感激をしました。今までこの方、賞には全く縁がありませんでした。

職場の事故が少しでも少なくなるように、という気持ちで応募しました。

安全標語に固執せず、絵にかいた餅にならないよう、働く人 一人ひとりが、無事故の取り組みを進めていくことが大切であると思います。

私自身も古希を過ぎました。人間年をとってくると集中力が散漫になりがちです。集中力が欠けてくると、事故も発生しやすくなります。

仕事をする上で緊張感が不可欠です。

福知山市シルバー人材センターでも、数多くの会員が様々な職種で働いておられます。労働災害を起こすと怪我にとどまらず、命にかかわる事故になることもあります。

一度事故を起こすと本人が一番痛い目にあいますが、周りの方々にも多大な迷惑がかかります。

絶対事故は起こさないという強い信念を持つことが必要になってきます。

対岸の火事という言葉がありますが、自然災害、労働災害を問わず、いつ火の粉が自分に降り注ぐかもしれません。人ごととは思わず、いつも自分事として受け止める事が大切であると思います。

これからは、ますます高齢化社会が進みます。働く人口も当然高齢者が増えてまいります。人間年をとるに従い体力が次第に衰えてゆきます。今まで出来ていたことが、段々出来なくなり、想像していない予期せぬ事があります。

これから残された人生、無事故で乗り切り、有意義な生活が送れるように日々努力を重ねていく所存であります。

投稿していただいた皆様、ありがとうございました。

事務局では、年2回発行の会報誌「シルバーふくちやま」に掲載する写真、原稿を募集しています。題材は自由でどんなことでも結構です。体験談、感想文、随筆、俳句、趣味、雑感などをお気軽に。会員の皆様の投稿をお待ちしています。

投稿の
募集

